

2016年4月から2018年3月までに

バンコマイシン塩酸塩点滴静注用による治療を受けられた方へ

当センターでは下記の臨床研究を実施しています。この研究の詳細についてお知りになりたい方は、問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報等をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

●研究の名称

高齢者におけるバンコマイシン誘発性腎障害発症率の加齢変化に関する調査

●研究の対象

2016年4月～2018年3月に当センターに入院し、バンコマイシン塩酸塩点滴静注用による治療を受けられた方

●研究の期間

2020年4月から 2021年12月まで

●研究の目的

バンコマイシン塩酸塩点滴静注用（VCM）は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（methicillin - resistant *Staphylococcus aureus* : MRSA）感染症の治療に最も広く使用されている抗菌薬ですが、代表的な副作用の一つに腎障害があり、臨床上問題となることがあります。加齢は VCM 投与による薬剤性腎障害の危険因子であるとされています。これまでに、VCM 誘発性腎障害（Vancomycin-induced nephrotoxicity : VIN）発症における加齢の影響に関するいくつかの報告がありますが、その結果は一様ではありません。本研究では、加齢に伴い、バンコマイシン使用時の腎障害の発症率がどのように変化するか、そのリスクファクターをスクリーニングすることを目的としています。

●研究の方法

上記の期間に当センターに入院し、VCM の点滴治療を受けられた方の背景（年齢、性別、身長、体重など）、VCM の投与状況（投与量、投与期間など）、検査結果（VCM 血中濃度、腎機能検査、栄養状態など）のデータを電子カルテより収集します。VCM 投与期間中の腎機能検査の結果を基に VIN の発症率を調査

研究－参考書式 1

し、年代別発症率を比較することで加齢に伴う腎障害発症率の変化を調査します。

●研究に使用する試料・情報

年齢、性別、身長、体重、血清クレアチニン、血中尿素窒素、総蛋白、アルブミン、VCM 投与量、VCM 血中濃度、VCM 投与期間

●研究組織

研究責任者：東京都健康長寿医療センター薬剤科 瀧川正紀

共同研究者：東邦大学薬学部 実践医療薬学研究室 石井敏弘

東邦大学薬学部 実践医療薬学研究室 田中博之

東京都健康長寿医療センター研究所 石神昭人

東京都健康長寿医療センター薬剤科 森淑子

●資料の入手または閲覧、開示

この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じてあなた自身の資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報を含む場合には、資料の提供または閲覧はできません。

●お問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター

連絡先：東京都健康長寿医療センター薬剤科 瀧川正紀（平日 9:00～17:00）

03-3964-1141（内線：2018）